

市長とおしゃべり しませんか？

テーマ

円山動物園にゾウは必要か？

- 日時／2月2日(土)
- 会場／円山動物園動物科学館
- 参加総数／約60人
- 発言者数／14人

ゾウがいなくなった動物園に新たなゾウは必要か？
若い学生たちが、ゾウを飼うことの是非について、さまざまな意見を発表しました。

新たにゾウを飼うためには



- ゾウは本来群れで生活するため、複数頭を飼わなければなりません。
- ゾウ舎を新たに建設するため、広い敷地と多額の費用が必要です。
- ゾウは1日に約100kgの草を食べるので、餌代などが膨大に掛かります。



市立高等専門学校
専攻科1年

ささき
佐々木
たろう
太郎さん



北海道エコ・
コミュニケーション
専門学校1年

きむら
木村
さやか
彩耶夏さん

ゾウ舎の建て替えなどにたくさんのお金を掛けてまでゾウを飼うより、ほかの動物園にはいない目玉となる動物を飼うのはどうでしょうか。

幼いころ、円山動物園のゾウを見て感動し、今、動物にかかわる勉強をしています。子供たちがゾウを見たら、自分のように動物に興味を持つようになると思います。

市長から

ゾウの大きな体を見たときの驚きは、動物に興味を持つ良いきっかけになると思います。一方で、ゾウを飼育するならば、獣舎の新設など多額の費用が掛かります。今後も皆さんの意見を聞き、ゾウを飼うかどうか検討していきます。

テーマ

食物アレルギーのある子供が健やかに成長するために

- 日時／2月24日(日)
- 会場／男女共同参画センター
- 参加総数／約60人
- 発言者数／8人

特定の食物を食べると、じんましんやかゆみなどさまざまな症状が起きる食物アレルギー。会場にはアレルギーのある子供の親が集まり、市長とともに思いや悩みを話し合いました。



いとう
伊藤
まさこ
雅子さん

市立病院にアレルギーの専門外来をつくってほしいです。難しいなら、アレルギーによるショックを起こした際の、救急の受け入れ態勢だけでも整えてもらえませんか。

市長から

医師の確保が難しく、外来の新設や救急時の受け入れ態勢の整備は難しいと思いますが、何らかの対応ができないか検討してみます。



うらさき
浦崎
まゆこ
真由子さん

食物アレルギーのある子供への対応が、施設によって異なるので、統一したマニュアルを作り、小学校や幼稚園、保育所などに配布してほしいです。

市長から

市としてもマニュアルは必要と考え、現在作成中です。マニュアルを要約した概要版も併せて作り、区役所、保健センターなどでも配布したいと考えています。

詳細 「タウントーク」は区役所(1階)の総務企画課、「市長とおしゃべりしませんか?」は市民の声